

# 2010

---

## ASHIKAGA HOLDINGS DISCLOSURE ASHIKAGA BANK

足利ホールディングス 足利銀行 ミニディスクロージャー誌 2010年(22年3月期)



皆さまには、平素より足利ホールディングスならびに足利銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当期の金融経済環境は、経済対策の効果や海外経済の改善等を背景に持ち直しているものの、自律的な回復に乏しく、厳しい状況が続きました。このような環境のもと、弊社グループは、地域金融の円滑化やお客さまのニーズに応じた金融サービスの提供に取組み、地域経済の発展への貢献や企業価値の向上につとめてまいりました。

平成21年度は、地域金融の円滑化に関して、継続的な小口金融の推進とともに、中小企業金融円滑化法の施行を踏まえた体制整備を進め、お取引先の経営改善計画の策定支援や返済条件の見直し等に取組んだ結果、不良債権比率が3.71%（足利銀行単体）に低下したほか、要管理先以上の法人融資先数が前年度末比464先増加し20,205先となりました。また、地元企業の販路拡大支援を目的として、「食の展示・商談会」を栃木県と共同で開催いたしました。

個人部門においては、金利上昇せない8つの疾病保障付住宅ローンを中心に、住宅ローン残高が前年度末比417億円増加し11,780億円となりましたほか、個人預金・個人預り資産についても、各種キャンペーンの実施や商品の拡充などにより、その合計残高が37,170億円（年増率4.3%）に増加いたしました。また、個人向けインターネットバンキングの利用手数料の無料化など利便性向上に取組みました。

このほか、引き続き経費抑制につとめるとともに、平成23年中に予定している基幹システム更改に向けた準備を進めております。

こうした取組みに加え、債券売却益の計上、株式関係損益や与信関係費用の改善などから、平成22年3月期の弊社連結ベースの損益は、経常利益が246億円、当期純利益が254億円となり、いずれも事業計画を上回ることができました。

地域経済は、着実に持ち直しつつあるものの、水準的にはまだまだ厳しい状況にありますが、金融仲介機能を中心とした地域金融に真摯に取組み、皆さまのご期待にお応えできるよう、地域経済の発展に貢献してまいります所存です。

皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援とご愛顧をたまわりますようお願い申し上げます。

平成22年7月

株式会社足利ホールディングス 代表執行役社長

株式会社足利銀行 代表執行役頭取

藤澤 智

## プロフィール

### 足利ホールディングス

- 商 号 株式会社足利ホールディングス
- 代 表 者 代表執行役社長 藤澤 智
- 設立年月日 平成20年4月1日
- 資 本 金 1,050億1,000万円
- 本社所在地 栃木県宇都宮市桜4丁目1番25号（足利銀行本店内）
- 事業内容 銀行、その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理、およびそれに付帯する業務

### 足利銀行

- 商 号 株式会社足利銀行
- 代 表 者 代表執行役頭取 藤澤 智
- 創 業 明治28年10月1日
- 資 本 金 1,350億円
- 本 店 栃木県宇都宮市桜4丁目1番25号
- 職 員 数 2,676名

※足利銀行は、足利ホールディングスの100%子会社です。

（平成22年3月31日現在）



## 企業理念

「企業理念」は、足利ホールディングスおよび足利銀行のすべての行動の原点となる考え方を示したもので、「存在意義」「経営姿勢」「行動規準」から構成されています。

わたくしたちは、この企業理念のもとで地域の総合金融機関として、地域社会とお客さまの信頼と期待にお応えできるようにつとめております。

### ●存在意義

#### 「豊かさの創造に寄与する」

足利銀行は、地域の総合金融機関として、地域社会のすべての人々の豊かさの創造に寄与しつづけます。

### ●経営姿勢

#### 「地域と共に生きる」

足利銀行は、お客様本位の精神のもとに、地域と共に生きる開かれた銀行として積極的に健全な経営をすすめます。

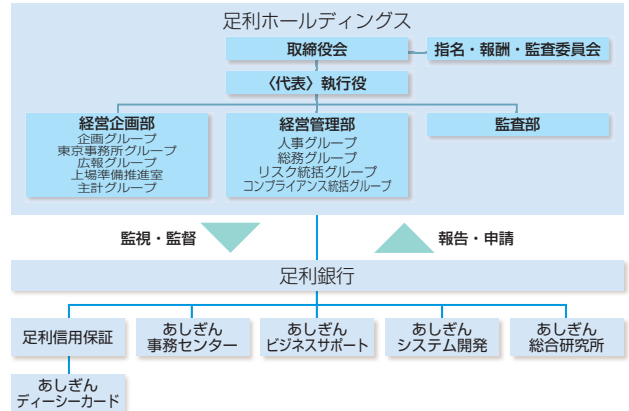
### ●行動規準

#### 「誇りと喜びをもって行動する」

わたくしたちは、自らの使命・役割をよく理解し、たえず自分を磨き、高め、誇りと喜びのある行動によって、人々の期待と信頼に応えます。

## 経営体制

企画機能を統括する経営企画部門、管理機能を統括する経営管理部門、内部監査を統括する監査部門を設置し、足利銀行の関連部門と密接に連携しながら経営の適正な管理・モニタリングを行っております。



## 中期経営計画

### 新あしぎん創造プロジェクト

#### 地域とともに新たな成長のステージへ

計画期間：平成21年4月～平成25年3月

足利ホールディングスおよび足利銀行は、中期経営計画で示した施策の着実な実行をとおして、お客さま、株主、地域社会、従業員等すべてのステークホルダーからの高い信頼を獲得しつづけて、持続的な企業価値の向上につとめてまいります。

### 【目指すべき銀行像】

- ◆お客さまに信頼され、頼りにされる銀行
- ◆持続的な地域経済の発展に貢献する銀行
- ◆強靱な経営体質をもった銀行

地域に密着した総合金融  
サービス業の実現を目指す

### 【中期経営計画の基本的考え方】

#### 栃木県において当行の マザーマーケットとしての基盤構築

- ◆地域銀行として関わるあらゆる分野で磐石な基盤を構築
- ◆預金、貸出等のシェアを高め、安定した収益を確保

#### 当行と縁のある外周部を重点地域として 貸出を主力に取引基盤を回復

- ◆顧客認知度（一定のシェア・店舗の歴史等）という強みを活かし、人員・店舗ネットワークを増強

## 足利ホールディングス（連結）

（単位：億円）

	21/3期実績	22/3期実績	21/3期比	22/3期計画	計画比
連結粗利益	651	957	306	872	85
営業経費（△）	409	581	171	—	—
貸倒償却引当費用（△）	193	125	△ 67	124	1
株式等関係損益	△ 299	△ 12	287	—	—
経常利益	△ 272	246	519	169	77
当期純利益	△ 65	254	320	165	89

- ・連結粗利益は、足利銀行の業務粗利益が計画を大幅に上回ったことを要因として、957億円（計画比+85億円）となりました。
- ・貸倒償却引当費用と株式等関係損益が前期より大きく改善したこと等から、経常利益は246億円（計画比+77億円）、当期純利益は254億円（計画比+89億円）となりました。

※21/3期実績については、足利銀行連結の20年度第1四半期の損益が反映されておりません。

## 足利銀行（単体）

（単位：億円）

	21/3期実績	22/3期実績	21/3期比	22/3期計画	計画比
業務粗利益	862	936	73	860	76
資金利益	727	737	9	744	△ 7
役務取引等利益	111	104	△ 6	107	△ 3
その他業務利益	23	94	70	8	86
うち国債等債券損益	13	88	75	—	88
経費（△）	486	496	9	510	△ 14
うち人件費（△）	221	239	17	239	0
うち物件費（△）	222	228	5	242	△ 14
実質業務純益	375	440	64	350	90
コア業務純益	362	351	△ 11	350	1
一般貸倒引当金繰入額（△）（+）	△ 12	（+） △ 18	（+） △ 6	1	（+） △ 19
業務純益	387	458	70	348	110
臨時損益	△ 279	△ 58	220	△ 100	42
うち不良債権処理額（△）	208	107	△ 101	100	7
うち株式等損益	△ 31	50	81	—	50
経常利益	108	399	291	248	151
特別損益	2,568	6	△ 2,561	—	6
当期純利益	2,804	401	△ 2,403	248	153
資金援助控除後当期純利益	238	401	162	248	153
（注）実質信用コスト＝一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額＋売却債権精算損－償却債権取立益					
実質信用コスト（注）（△）	191	79	△ 112	101	△ 22

### 《業務粗利益》

資金利益・役務取引等利益は計画を若干下回ったものの、金利動向をふまえた債券売却により国債等債券損益88億円を計上したことから、業務粗利益は936億円（計画比+76億円）となりました。

### 《経費・業務純益》

経費が496億円（計画比△14億円）となったことから、本業ベースの収益であるコア業務純益は、351億円（計画比+1億円）となりました。

### 《経常利益・当期純利益》

実質信用コストは79億円（計画比△22億円）となり前期から大きく改善したほか、保有株式の売却を進めたことによる株式等損益50億円を計上したことから、経常利益は399億円（計画比+151億円）、当期純利益は401億円（計画比+153億円）となりました。

## ホールディングス連結と銀行単体の差額の内訳

（単位：億円）

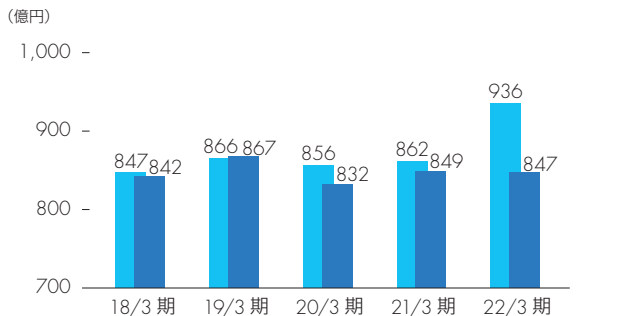
	22/3期	主な内容
当期純利益の差額	△ 146	⇒ホールディングス連結254億円－銀行単体401億円
ホールディングス劣後ローン支払利息	△ 34	⇒ホールディングス劣後ローン残高800億円
ホールディングスのれん償却	△ 62	⇒22/3期のれん1,131億円
その他ホールディングス連結調整等	△ 44	⇒有価証券関係損益の調整（※）等
銀行子会社分の損益	△ 5	⇒銀行連結と銀行単体の当期純利益の差額

※足利銀行の保有する有価証券の取得原価が、ホールディングス連結と銀行単体で異なるため生じるものです。

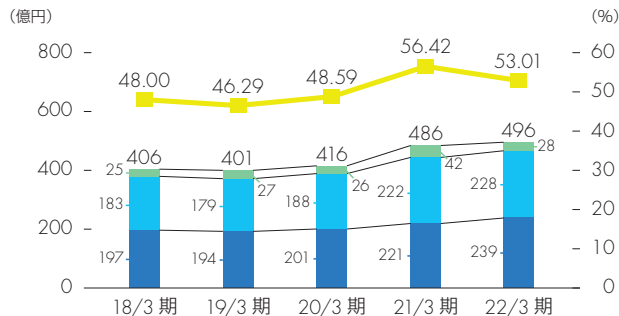


## 主な計数の推移（足利銀行単体）

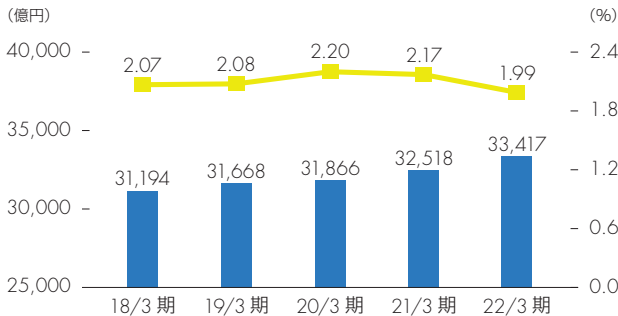
### 業務粗利益



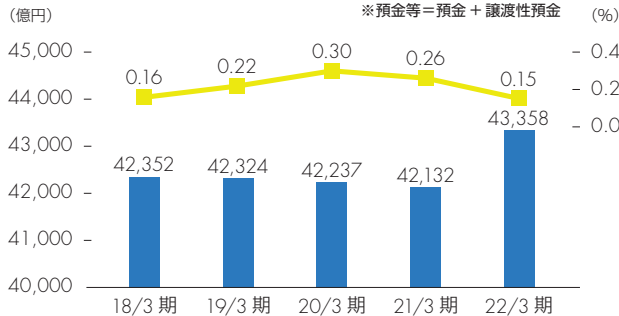
### 経費・OHR



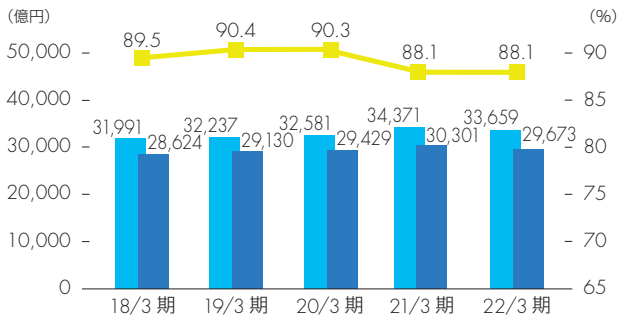
### 貸出金平準・利回り



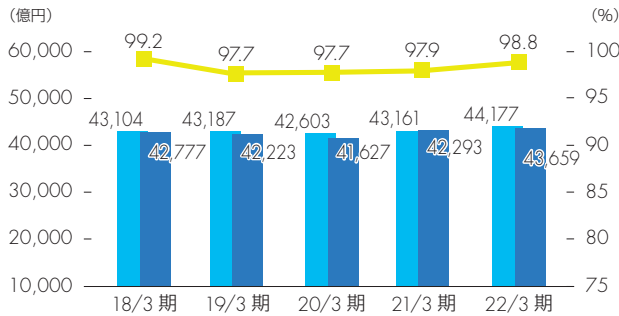
### 預金等平準・利回り



### 総貸出金残高、地域向け貸出金残高



### 総預金残高、地域の預金残高



地域における円滑な資金供給につとめており、地域向け貸出金は高い比率で推移しております。

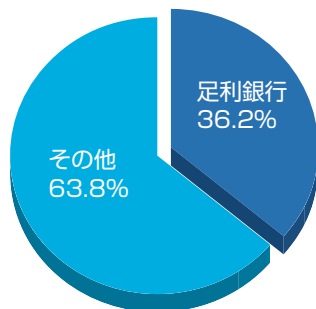
総預金に占める地域の預金は、高い水準で推移しております。

※当行における「地域」とは、北関東を中心とした主要な営業地盤（栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県）をさしております。

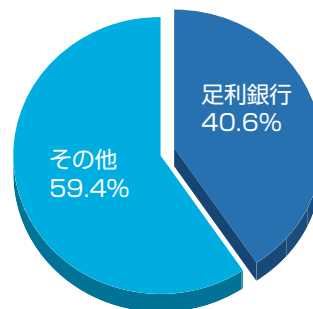


# 地域の皆さまとのお取引状況

## 栃木県内シェア 預金 (21年3月)

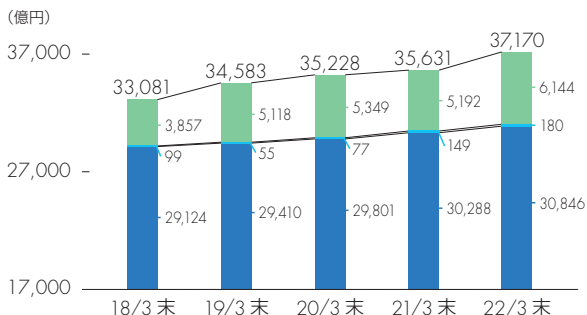


## 栃木県内シェア 貸出金 (21年3月)



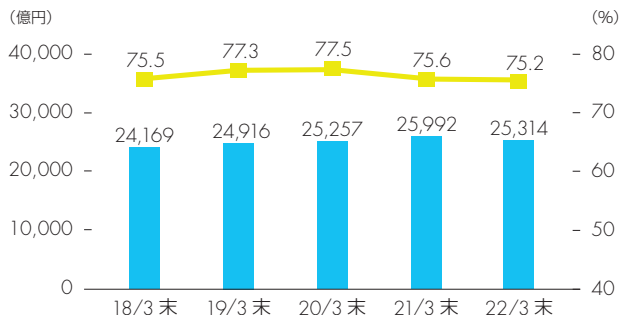
※本計数の対象金融機関は、国内銀行、信用金庫、信用組合、農協です。(当行調べ)

## 個人金融資産残高の推移



お客さまにとって価値ある商品の提供につとめ、円預金・預り資産ともに順調に増加しております。

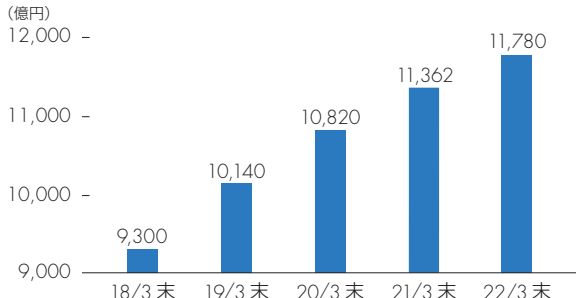
## 中小企業等向け貸出



縣市町村制度融資の活用や営業情報支援など、お客さまのニーズに沿った対応につとめております。

## 住宅ローン・法人融資先数の推移

### <住宅ローン残高>



金利上昇せない8つの疾病保障付住宅ローンの取扱いを中心として、残高は順調に増加しております。

### <法人融資先数 (正常先～要管理先)>

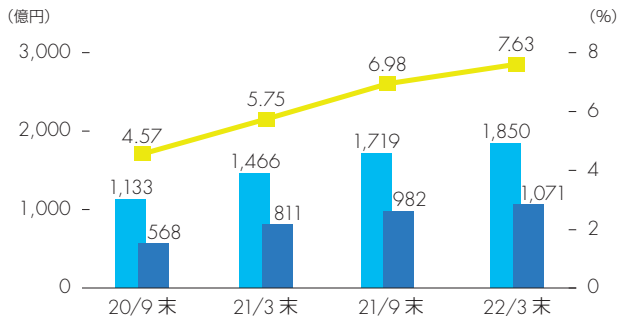


的確な資金ニーズの対応につとめ、お取引先数の拡充を進めております。

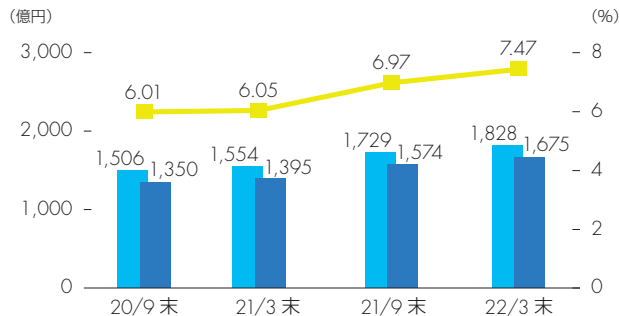


自己資本比率の推移

足利ホールディングス連結

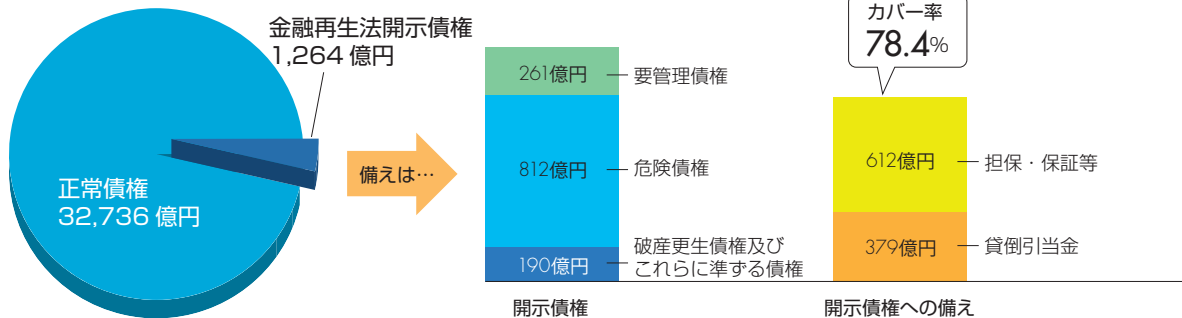


足利銀行単体

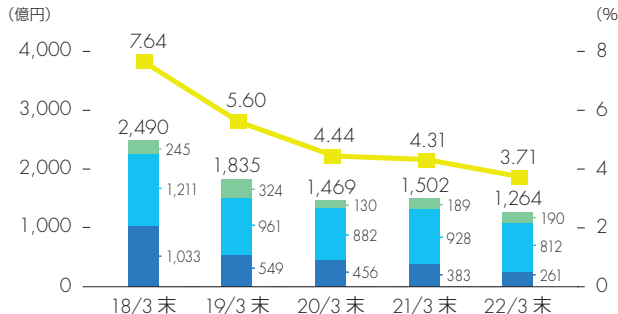


金融再生法に基づく開示債権の状況 (足利銀行単体)

22年3月末金融再生法開示債権



金融再生法開示債権の推移



22年3月末は、お取引先の経営改善支援に継続的に取り組んでいるほか、「中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針」や「金融検査マニュアル別冊〔中小企業融資編〕」等の改定を踏まえた貸出条件緩和債権（要管理債権）の見直しの対応を行ったこと等により、債務者区分のランクアップが増加したため、前年度末比△237億円の1,264億円となりました。

引き続き、積極的な企業再生の取組みと実質破綻先・破綻先債権の原則オフバランス化を進めることにより、資産内容の一層の健全化を進めてまいります。





## ① ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

### ア. 創業・新事業支援

- ・ 創業・新事業支援に関する融資実行 80件 552百万円

### イ. 経営改善支援・事業再生

外部専門家と連携し、専門知識やノウハウを積極的に活用しながら、個々の企業の状況に応じた支援を行っております。

### ウ. 事業承継

- ・ 後継者への自社株式移転等の事業承継に関する相談対応 117件
- ・ M&Aに関する相談対応 58件
- ・ 21年7月に後継者育成サポートの研修セミナーとして、「第11回ニューリーダー養成道場」を開催いたしました。



ニューリーダー養成道場

## ② 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

### ア. 私募債引受

- 15件 20億円

### イ. 流動資産担保融資

- 5件 180百万円

### ウ. 行員個々の能力向上に向けた研修等の実施



研修風景

## ③ 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

### ア. 地域における営業支援情報の提供

#### (ア) 情報営業の展開

- ・ ビジネスマッチングの取組みとして「食の展示・商談会」を開催
- ・ ビジネスマッチング支援サイト（全銀e-ビジネスマーケット）の取扱開始

#### (イ) シンクタンク（株式会社あしぎん総合研究所）による情報発信機能

- ・ 経済動向等の調査結果公表 23回
- ・ 21年11月より、「とちぎテレビ」の地元情報番組への出演
- ・ 外部講師を招いた実務セミナーの開催

#### (ウ) 経済講演会・セミナーの開催

- ・ 経済講演会の開催 2回
- ・ 中国ビジネスセミナーの開催 1回

### イ. 官民・産学の連携に向けた活動

#### (ア) 官民連携活動 PFI事業への取組み 2件

#### (イ) 産学連携活動

21年4月に、当行行員が宇都宮大学地域共生研究開発センターのコーディネータに任命され、現在7名の行員が取引先企業における技術開発などのニーズと同大学の研究（シーズ）をつなぐ情報交換や案件の紹介に取組んでおります。



コーディネータ



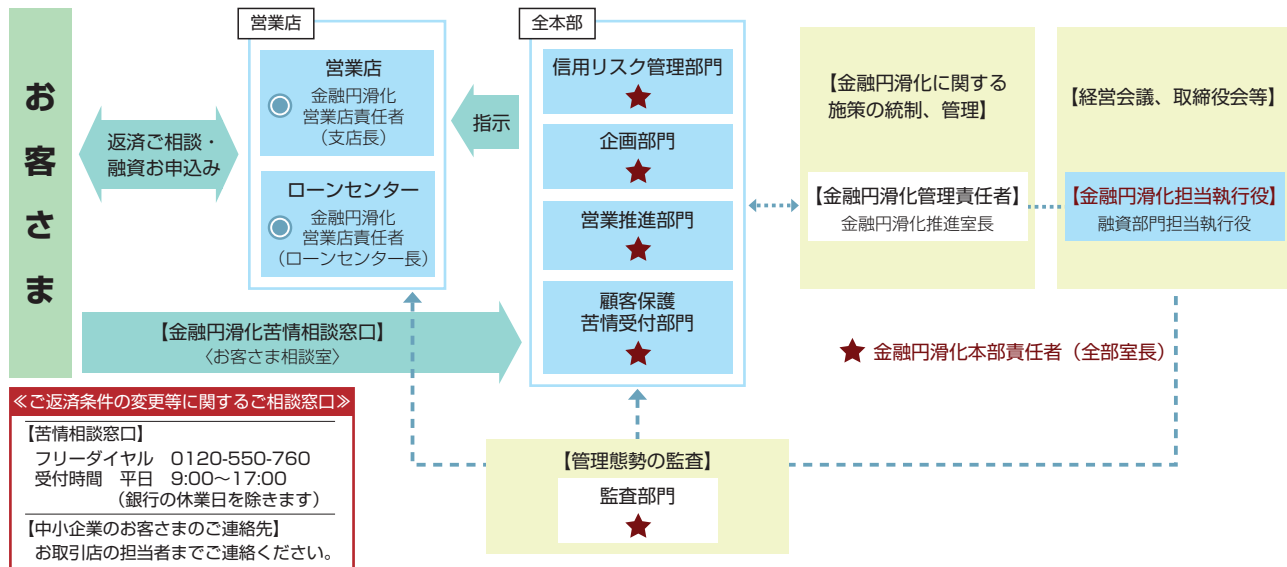


足利銀行は、21年12月4日の中小企業金融円滑化法の施行にともない、お客さまへの円滑な資金供給を重要な経営課題の一つと位置づけ、金融円滑化に関するお客さまからの各種ご相談に、きめ細かく、かつ、迅速・的確にお応えするよう、積極的に取り組んでおります。

## 〈基本方針（抜粋）〉

「お客さまからのお借入条件の変更等のお申込みに対しては、お客さまのご要望を真摯にお伺いし、できる限り、ご返済負担の軽減に資する措置をとるようつとめてまいります。」

## ● 行内体制



## ● 対応状況

住宅ローンのご返済相談窓口の拡充やご返済相談専用電話を設置したほか、中小企業および個人事業主の皆さまからの資金繰りのご相談にお応えするための「休日相談窓口」の設置を行っております。

3月末時点での条件変更の申込みは、4,850件（中小企業で4,189件、住宅資金で661件）となっております。また、このうち謝絶に至った案件は146件ありますが、このうち申込みから3か月間に実行に至らずに謝絶にみなしたものが110件あり、これを除くと36件（全体の申込みの0.7%）となっております。



## 運用商品の充実

### ● スマイルデスク（資産運用相談窓口）

お客さまの資産運用ニーズにお応えするため、金融商品販売店舗に相談ブースを設置し、専門のスタッフが資産づくりのアドバイスを行っております。そのブースを「スマイルデスク」、専門のスタッフを「CA（カスタマーアドバイザー）」の愛称で呼んでおります。お客さまを笑顔でお迎えし、資産運用等の幅広い相談に、親切・丁寧に応対するという思いから“スマイルデスク”と名付けました。



#### ・ 投資信託

投資信託は、身近な投資として注目され、お客さまの関心も高いことから、取扱ファンドの追加など、商品ラインナップの充実をはかっております。

#### ・ 国債

国債の安全性やメリットについてご説明し、バランスのとれた資金運用のご提案をさせていただいております。22年6月より個人向け国債（固定3年）の取扱いを開始いたしました。

#### ・ 外貨預金

預金種類は定期預金と普通預金、通貨は米ドル、ユーロ、豪ドルおよびニュージーランドドル等の中からお選びいただくことができます。

また、便利な「自動継続外貨定期預金」を取り扱っております。

#### ・ 個人年金保険

個人年金保険は、ゆとりある老後資金の形成を主な目的として、「ふやす」（運用）、「つかう」（年金）、「のこす」（保険）の機能をひとつにまとめた商品であり、お客さまの豊かな将来設計にお応えする商品として、ご提案しております。

## ローン商品の充実

### ● ローンセンター（ローン専用相談窓口）

お客さまにいつでも安心して気軽にご来店いただき、ゆっくりとご相談いただけるように、22か所のローンセンターを設置しております。ローンセンターでは、住宅ローンをはじめ、マイカーローン、教育ローンなど、お客さまの暮らしのお役に立つ商品を取り扱っており、ローン専門のスタッフが各種ローン商品の説明を行い、資金計画・返済計画等のご相談をお受けしております。

#### ・ 住宅ローン

住宅ローン「暮らし上手」は、住宅取得にともなう諸費用やインテリア資金などにもご利用可能で、「金利タイプ」「金利割引タイプ」「保障タイプ」をお客さまがそれぞれ選択いただける商品となっております。また、「8つの疾病」（「ガン」「急性心筋梗塞」「脳卒中」「高血圧症」「糖尿病」「慢性腎不全」「肝硬変」「慢性膵炎」）を保障する住宅ローンを取り扱っております。

#### ・ 各種ローン

マイカーの購入にご利用いただけるマイカーローン“アポイント”、お子さまやご本人さまの教育関連資金にご利用いただける教育ローン“カルチャータン”をはじめ、リフォームローン「住まい快適」、カードローン“Popスピード型”など、お客さまのさまざまなニーズにお応えする各種ローンを取り揃えております。



## お客さまの利便性向上への取組み

### ● インターネットバンキング・モバイルバンキング

パソコンや携帯電話でお取引内容の照会、お振込・お振替、定期預金・投資信託のお取引、税金・各種料金の払込み等を24時間ご利用いただける「インターネットバンキング・モバイルバンキング」サービスを取り扱っております。

### ● セブン銀行ATM・イーネットATM

セブン銀行ATM・イーネットATMと提携しており、22年3月末現在でセブン銀行ATM13,432か所（内栃木県内354か所）、イーネットATM10,256か所（栃木県内171か所）で、ご利用いただくことができます。21年2月からより便利にご利用いただくために、平日の日中時間帯（8時45分～18時）のセブン銀行ATM・イーネットATMのご利用手数料を無料化いたしました。



### ● あしぎんポイントサービス

個人のお客さまを対象に、各種お取引やご預金残高等をポイント化し、ポイントが多いほど特典がふくらんでいくサービスです。当行ATM、セブン銀行ATM・イーネットATMのご利用手数料、ローン金利優遇などの特典をご用意しております。

### ● GOODYカード

21年2月より、銀行本体で発行するクレジットカード「GOODY（グッディ）カード」の取扱いを開始いたしました。「ICキャッシュカード」としても「クレジットカード」としてもご利用いただける便利なカードです。



### ● 新分野の保険商品

銀行における保険販売の全面解禁に対応し、21年4月より、がん保険、医療保険、一時払終身保険を取り扱っております。

また、22年4月より、学資保険の取扱いを開始いたしました。今後とも、お客さまのライフステージ全体をサポートする商品やサービスの提供につとめてまいります。

### ● 金融商品仲介業務

総合金融サービスの拡充をはかることを目的として、22年1月より、野村證券株式会社を提携証券会社とする金融商品仲介業務を、本店営業部において開始いたしました。これにより、取扱店舗である本店営業部においては、野村證券株式会社の仲介取引口座（個人・法人）開設や外国債券等の売買の取次ぎが可能となりました。

## ● 事業継承支援

後継者へのスムーズな事業継承のために、現状の分析から問題点の把握、解決策の提案に至るまで、総合的なアドバイスやコンサルティングを行っております。

## ● M&A業務

事業の拡大や多角化、人材やノウハウの獲得、または事業継承対策のためのM&Aをお考えのお客さまに、提携先企業の情報提供から提携に至るまで、総合的なアドバイスやコンサルティングを行っております。

## ● 株式上場支援

株式上場を希望されるお客さまに、株式上場に関する総合的なアドバイスのほか、社内管理体制整備に関する情報提供や監査法人、幹事証券会社、証券代行会社等の紹介を行っております。

また、高い成長性が見込まれるお客さまの資金調達ニーズに対し、「あしぎんファンド」を活用した資金面の支援を行うとともに、株式上場後も、資金調達や組織運営、利益管理等について継続的なサポートを実施しております。

## ● シンジケートローン組成業務

設備資金等の大型資金ニーズに対し、お客さまに代わり、当社がアレンジャー（主幹事）として協調融資団を組成し、貸出条件の設定、投資家（金融機関）の招聘、契約書の作成等を行い、お客さまと協調融資団の仲立ちをしております。

## ● 社債発行支援

私募債の受託や引受を中心に、公募債の発行事務代行や社債管理業務等により企業の起債を支援し、資金調達の安定・効率化および多様化のお手伝いをしております。

また、発行条件等タイムリーな情報を提供するとともに、適切なアドバイスを行っております。

## ● 営業情報の提供

行内に「オーガニック（有機的に結合した）情報営業体制」を展開し、お客さまの事業にとって有益な営業情報をタイムリーに提供しております。

北関東エリアを中心とした営業ネットワークを最大限に活用し、経営上の課題解決策につながる情報の提供につとめ、お客さまのニーズにお応えしております。22年1月には、栃木県と共同して「食の展示・商談会」を開催し、首都圏をはじめ関東全域の発注企業（バイヤー）と地元の食品関連企業との商談の場を設け、お取引先の販路拡大を支援いたしました。

また、お客さま自身で経営情報の取得や営業情報の発信を行うことができる会員制ビジネスサイト「あしぎんinformation BOX」による情報提供も行っております。



食の展示・商談会



## ● 確定拠出年金業務

企業年金の導入や適格退職年金制度の廃止を見据えた対策を検討している法人のお客さまに、企業年金や退職金制度全般にわたる情報提供など、アドバイスやコンサルティングを行っております。

当行では、お客さまの経営基盤の強化とその企業に勤務する社員の皆さまの豊かな未来の実現に向けて、確定拠出年金制度の導入を支援してまいります。



## ● 海外支援と国際業務

日本経済のグローバル化は、広範に進展しており、当行の営業エリアのお客さまにおきましても、中国、ASEAN諸国を中心としたアジア地域に対する海外取引や進出が拡大しております。

当行では、本部の専門スタッフが貿易や海外直接投資に関するご相談を随時お受けするほか、各種セミナーの開催による海外最新情報の提供や外部専門機関との連携による個別支援等により、地元企業の皆さまの国際化をサポートする体制を整えております。21年11月には、外部専門家を招いて「中国ビジネスセミナー」を開催し、中国での事業運営上の課題解決ニーズに対応する機会として、中国ビジネスに取り組む多くのお取引先にご参加いただきました。

業務につきましては、海外とのお取引に必要な海外送金、貿易関連業務、外貨預金、外貨貸付等、海外決済分野で有力な国内および外国銀行との業務委託契約により、当行および業務委託先のコルレス網を通じて、全世界とスピーディな取引を行うことができます。

また、外貨建てのお取引全般につきまして、通貨スワップ等による為替リスクヘッジ商品のご提案を行うなど、国際業務サービスの向上につとめております。



中国ビジネスセミナー

## ● EB・インターネットサービス

インターネット、パソコン、FAX等によりお振込手続き、お取引口座の入出金・残高照会がご利用いただけるサービスです。

全国の金融機関の口座から代金を回収できる「T-NET 代金回収サービス（ワイド型）」やコンビニエンスストアを利用した「コンビニ収納サービス」、手形レス化により社内事務効率化を実現する「一括ファクタリングサービス」等、多彩なサービスラインナップにより、経理事務の合理化・効率化のサポートを行っております。

## ● あしぎんビジネスセンター

「あしぎんビジネスセンター」では、各営業店との連携をはかりながら、中小企業や個人事業主のお客さまへニーズに合わせた商品のご案内をするとともに、ご融資をはじめとする事業に関するさまざまなご相談をお受けしております。

窓口までご来店いただかなくても、電話やFAXでお気軽にご相談いただくことができ、当行とのお取引がないお客さまからもご好評をいただいております。



あしぎんビジネスセンター



# CSR（企業の社会的責任）への取り組み

## ● 金融知識の普及

営業店において、地元の小学生から大学生までの職場体験や校外体験学習の受け入れを25件実施したほか、銀行業務に関心のある学生への就業体験の機会提供として、大学生・短大生のインターンシップを15名受け入れております。



本店営業部見学

## 【キッズスクールの開催】

21年8月の夏休み中にも、地域の子供たちにお金の大切さや銀行の役割を楽しく学んでいただくため、栃木県金融広報委員会と連携し、地域の小学生を対象とした『あしぎんキッズスクール「お金の体験学習」』を本店にて開催し、15組37名の親子に参加していただきました。



講座風景

## 【大学への講座提供】

22年4月より、地域の発展や社会貢献および人材育成に資する取組みの一環として、宇都宮大学において当行の提供講座「一地方銀行の歴史に学ぶ金融論」を開始しております。

## ● 環境問題への取組み

### 【森林保護への取組み】

栃木県「日光杉並木オーナー制度」に賛同し、22年5月現在で58本（1本10,000千円）の杉を保有しているほか、NPO法人「足尾に緑を育てる会」の協力のもと、新入行員全員が足尾の山に苗木の植樹を行っています。



植樹活動

### 【省エネの推進】

21年7月に、全営業店のエネルギー使用量やCO<sub>2</sub>排出量を一元管理するシステムを導入し、CO<sub>2</sub>の削減に積極的に取り組んでおります。また、栃木県主催の「“とちぎ発” ストップ温暖化アクション」では、栃木県内の全営業店がエントリーを行い、5年連続で表彰受賞しております。

## ● がん啓発セミナーの開催 （がん検診受診率向上への取組み）

栃木県および東京海上日動火災保険とともに取り組んでいる「栃木県がん検診受診率向上プロジェクト」の一環として、21年11月に「がん啓発セミナー」を3者共催で開催し、約250名のお客さまにご来場いただきました。

また、〈あしぎん〉の店舗窓口では、ひとりでも多くのお客さまにがんが身近な問題であることと、早期発見・早期治療が重要であることをお伝えし、検診受診をおすすめしております。



がん啓発セミナー



リーフレット

## ● 宇都宮まちづくり貢献企業の認証



21年11月、宇都宮まちづくり貢献企業認証委員会より、CSR活動に取組み、宇都宮のまちづくりに貢献している企業として、「宇都宮まちづくり貢献企業」に認証されました。

## ● 振り込め詐欺防止への取組み

地域の皆さまの大切な資産をお守りするため、県警と連携し振り込め詐欺防止の「声かけ訓練」の実施、チラシの配布、注意喚起等を行っております。





## ● あしぎん総合研究所

当行100%出資子会社であるあしぎん総合研究所は、地域経済・業界動向の調査研究や経済セミナーの実施、企業の経営課題克服に向けたサポートを通して、地域経済の発展に取り組んでおります。

また、研究所の職員が「とちぎテレビ」地元情報番組「イブニング6」内で、経済情報コーナーを担当し、栃木県の経済に関する情報をわかりやすい説明で地元の皆さまに提供しております。



## ● あしぎん国際交流財団

当行が昭和60年に設立したあしぎん国際交流財団では、栃木県を中心とする地域に学ぶ海外からの私費留学生や地域の国際交流団体への助成を行っております。



財団役員と助成先

## ● あしぎんYOU-I 運動

あしぎんYOU-I運動とは、平成2年にスタートした職員の自主的なボランティア活動です。地域イベントへの参加、清掃活動、献血協力、各種募金活動、リサイクル資源の収集等を積極的に展開し、21年度の活動実績は、全店で892件(昨年比+129件)となりました。



フェスタmy宇都宮

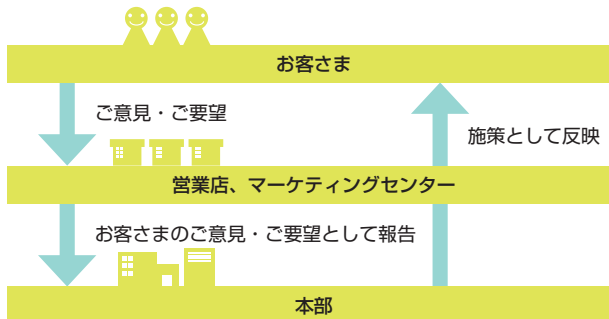


益子陶器市

## ● 「お客さまの声」の収集

苦情を含め、お客さまからいただいたご意見・ご要望等の「お客さまの声」をもとに、サービスの向上のための活動を行っております。

### 【「お客さまの声」の収集と反映の流れ】



## ● 「CS総点検の日」の設定

一時国有化となった11月29日を「CS総点検の日」とし、創業の精神「地元密着の営業姿勢」を再確認し、お客さまへの感謝の気持ちを思い起こす日としております。

## ● 店頭モニタリング調査の実施

全営業店(ローンセンターを除く)を対象に、外部機関による「店頭モニタリング調査(店頭覆面調査)」を実施しており、営業店のお客さま対応状況を厳しくチェックし、着実に改善につなげております。

## ● 認知症サポーターの配置

高齢化社会の進展にともない、認知症への理解を深めるとともに、窓口等におけるCS(お客さま満足)向上のため、「認知症サポーター」を全営業店に配置することとしました。

お客さまが安心してご来店いただけるやさしい店づくりにつとめるとともに、地域金融機関として、認知症の方やそのご家族が安心して暮らせるよう地域社会に貢献してまいります。





# 連結財務諸表 (足利ホールディングス)

## 連結貸借対照表 (平成22年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
<b>資産の部</b>	
現金預け金	93,372
コールローン及び買入手形	148,016
買入金銭債権	6,544
商品有価証券	4,377
金銭の信託	84
有価証券	1,238,501
貸出金	3,367,654
外国為替	4,477
その他資産	23,740
有形固定資産	26,882
無形固定資産	117,336
繰延税金資産	5,433
支払承諾見返	24,170
貸倒引当金	△ 70,801
<b>資産の部合計</b>	<b>4,989,790</b>
<b>負債の部</b>	
預金	4,363,937
譲渡性預金	87,735
債券貸借取引受入担保金	10,315
借入金	215,366
外国為替	436
その他負債	36,074
役員賞与引当金	48
退職給付引当金	15,374
役員退職慰労引当金	141
睡眠預金払戻損失引当金	1,236
偶発損失引当金	164
ポイント引当金	52
支払承諾	24,170
<b>負債の部合計</b>	<b>4,755,053</b>
<b>純資産の部</b>	
資本金	105,010
資本剰余金	95,780
利益剰余金	25,179
株主資本合計	225,970
その他有価証券評価差額金	8,774
繰延ヘッジ損益	△ 7
評価・換算差額等合計	8,766
<b>純資産の部合計</b>	<b>234,737</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>4,989,790</b>

### 資産の部

お客さまへのご融資である「貸出金」、債券や株式等の「有価証券」など、主に資金の運用状況を表します。

### 負債の部

お客さまからお預りしている「預金」、「譲渡性預金」、「借入金」など、主に資金の調達状況を表します。

### 純資産の部

株主の皆さまからのご出資金である「資本金」や今までの利益の蓄積である「利益剰余金」などの総額です。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>117,053</b>
資金運用収益	84,649
（うち貸出金利息）	(69,951)
（うち有価証券利息配当金）	(13,944)
役務取引等収益	17,016
その他業務収益	9,723
その他経常収益	5,663
<b>経常費用</b>	<b>92,368</b>
資金調達費用	10,342
（うち預金利息）	(6,505)
役務取引等費用	5,152
その他業務費用	114
営業経費	58,109
その他経常費用	18,648
<b>経常利益</b>	<b>24,684</b>
<b>特別利益</b>	<b>980</b>
固定資産処分益	12
償却債権取立益	967
<b>特別損失</b>	<b>242</b>
固定資産処分損	206
減損損失	35
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>25,422</b>
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	<b>358</b>
<b>法人税等調整額</b>	<b>△ 405</b>
<b>法人税等合計</b>	<b>△ 46</b>
<b>当期純利益</b>	<b>25,469</b>

### 経常収益、経常費用

「経常収益」は、貸出金利息や各種手数料等の収益で、「経常費用」は預金利息や営業経費等の費用を表します。

### 経常利益

経常収益から経常費用を差し引いた利益のことです。

### 当期純利益

経常利益から税金等を差し引いた最終的な利益のことです。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
<b>株主資本</b>	
資本金	
前期末残高	105,010
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	105,010
資本剰余金	
前期末残高	104,990
当期変動額	
欠損填補	△ 6,304
剰余金の配当	△ 2,904
当期変動額合計	△ 9,209
当期末残高	95,780
利益剰余金	
前期末残高	△ 6,593
当期変動額	
欠損填補	6,304
当期純利益	25,469
当期変動額合計	31,773
当期末残高	25,179
株主資本合計	
前期末残高	203,406
当期変動額	
剰余金の配当	△ 2,904
当期純利益	25,469
当期変動額合計	22,564
当期末残高	225,970
<b>評価・換算差額等</b>	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	△ 8,116
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	16,890
当期変動額合計	16,890
当期末残高	8,774
繰延ヘッジ損益	
前期末残高	44
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△ 51
当期変動額合計	△ 51
当期末残高	△ 7
評価・換算差額等合計	
前期末残高	△ 8,072
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	16,838
当期変動額合計	16,838
当期末残高	8,766
<b>純資産合計</b>	
前期末残高	195,333
当期変動額	
剰余金の配当	△ 2,904
当期純利益	25,469
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	16,838
当期変動額合計	39,403
当期末残高	234,737

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前当期純利益	25,422
減価償却費	2,951
減損損失	35
のれん償却額	6,202
貸倒引当金の増減 (△)	△ 2,705
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	35
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	232
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	61
睡眠預金払戻損失引当金の増減 (△)	81
偶発損失引当金の増減額 (△は減少)	71
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	3
資金運用収益	△ 84,649
資金調達費用	10,342
有価証券関係損益 (△)	△ 6,203
金銭の信託の運用損益 (△は運用益)	△ 1
為替差損益 (△は益)	4
固定資産処分損益 (△は益)	193
貸出金の純増 (△) 減	70,881
預金の純増減 (△)	99,052
譲渡性預金の純増減 (△)	70,626
借入金 (劣後特約付借入金を除く) の純増減 (△)	81,376
預け金 (日銀預け金を除く) の純増 (△) 減	△ 1,654
コールローン等の純増 (△) 減	△ 99,070
商品有価証券の純増 (△) 減	456
コールマネー等の純増減 (△)	△ 90,000
債券貸借取引受入担保金の純増減 (△)	△ 122,116
外国為替 (資産) の純増 (△) 減	△ 177
外国為替 (負債) の純増減 (△)	△ 45
資金運用による収入	85,460
資金調達による支出	△ 9,900
その他	△ 5,663
小計	31,306
法人税等の支払額	△ 1,514
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,791
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有価証券の取得による支出	△ 700,573
有価証券の売却による収入	480,016
有価証券の償還による収入	174,576
金銭の信託の減少による収入	158
有形固定資産の取得による支出	△ 4,200
有形固定資産の売却による収入	36
無形固定資産の取得による支出	△ 2,210
その他	△ 22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 52,219
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
配当金の支払額	△ 2,904
リース債務の返済による支出	△ 4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,909
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△ 3</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△ 25,340</b>
現金及び現金同等物の期首残高	113,707
現金及び現金同等物の期末残高	88,367

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結財務諸表 (足利銀行)

## 連結貸借対照表 (平成22年3月31日現在)

(単位: 百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
現金預け金	93,372	預金	4,370,425
コールローン及び買入手形	148,016	譲渡性預金	87,735
買入金銭債権	6,544	債券貸借取引受入担保金	10,315
商品有価証券	4,377	借入金	135,366
金銭の信託	84	外国為替	436
有価証券	1,238,501	その他負債	35,153
貸出金	3,367,654	役員賞与引当金	23
外国為替	4,477	退職給付引当金	15,374
その他資産	21,729	役員退職慰労引当金	100
有形固定資産	27,098	睡眠預金払戻損失引当金	1,236
無形固定資産	4,141	偶発損失引当金	164
繰延税金資産	6,485	ポイント引当金	52
支払承諾見返	24,170	支払承諾	24,170
貸倒引当金	△ 70,801		
		<b>負債の部合計</b>	<b>4,680,554</b>
		<b>純資産の部</b>	
		資本金	135,000
		利益剰余金	45,813
		株主資本合計	180,813
		その他有価証券評価差額金	14,492
		繰延ヘッジ損益	△ 7
		評価・換算差額等合計	14,485
		<b>純資産の部合計</b>	<b>195,298</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>4,875,853</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>4,875,853</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位: 百万円)

科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>117,399</b>
資金運用収益	84,033
(うち貸出金利息)	(69,951)
(うち有価証券利息配当金)	(13,329)
役員取引等収益	17,071
その他業務収益	9,651
その他経常収益	6,642
<b>経常費用</b>	<b>77,520</b>
資金調達費用	6,907
(うち預金利息)	(6,508)
役員取引等費用	5,152
その他業務費用	114
営業経費	52,092
その他経常費用	13,253
<b>経常利益</b>	<b>39,878</b>
<b>特別利益</b>	<b>980</b>
<b>特別損失</b>	<b>211</b>
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>40,647</b>
法人税、住民税及び事業税	354
法人税等調整額	694
法人税等合計	1,048
<b>当期純利益</b>	<b>39,598</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位: 百万円)

科目	金額	科目	金額	科目	金額	科目	金額
<b>株主資本</b>		<b>利益剰余金</b>		<b>評価・換算差額等</b>		<b>評価・換算差額等合計</b>	
資本金		前期末残高	16,269	その他有価証券評価差額金		前期末残高	2,220
前期末残高	135,000	当期変動額		前期末残高	2,176	当期変動額	
当期変動額		剰余金の配当	△ 10,053	当期変動額		株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	12,264
当期変動額合計	—	当期純利益	39,598	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	12,316	当期変動額合計	12,264
当期末残高	135,000	当期変動額合計	29,544	当期変動額合計	12,316	当期末残高	14,485
資本剰余金		当期末残高	45,813	当期末残高	14,492	<b>純資産合計</b>	
前期末残高	—	株主資本合計		繰延ヘッジ損益		前期末残高	153,489
当期変動額		前期末残高	151,269	前期末残高	44	当期変動額	
当期変動額合計	—	当期変動額		当期変動額		剰余金の配当	△ 10,053
当期末残高	—	剰余金の配当	△ 10,053	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 51	当期純利益	39,598
		当期純利益	39,598	当期変動額合計	△ 51	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	12,264
		当期変動額合計	29,544	当期変動額合計	△ 7	当期変動額合計	41,809
		当期末残高	180,813	当期末残高	△ 7	当期末残高	195,298

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 単体財務諸表 (足利銀行)

## 貸借対照表 (平成22年3月31日現在)

(単位: 百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
現金預け金	93,370	預金	4,417,799
コールローン	148,016	譲渡性預金	87,735
買入金銭債権	6,544	債券貸借取引受入担保金	10,315
商品有価証券	4,377	借入金	135,366
金銭の信託	84	外国為替	436
有価証券	1,267,440	その他負債	20,347
貸出金	3,365,921	役員賞与引当金	23
外国為替	4,477	退職給付引当金	14,589
その他資産	19,195	役員退職慰労引当金	100
有形固定資産	27,960	睡眠預金払戻損失引当金	1,236
無形固定資産	4,150	偶発損失引当金	164
繰延税金資産	6,401	ポイント引当金	7
支払承認見返	24,170	支払承諾	24,170
貸倒引当金	△ 65,756	<b>負債の部合計</b>	<b>4,712,292</b>
		<b>純資産の部</b>	
		資本金	135,000
		利益剰余金	44,614
		利益準備金	2,010
		その他利益剰余金	42,603
		繰越利益剰余金	42,603
		株主資本合計	179,614
		その他有価証券評価差額金	14,455
		繰延ヘッジ損益	△ 7
		評価・換算差額等合計	14,448
		<b>純資産の部合計</b>	<b>194,062</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>4,906,354</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>4,906,354</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位: 百万円)

科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>112,355</b>
資金運用収益	80,659
(うち貸出金利息)	(66,613)
(うち有価証券利息配当金)	(13,304)
役員取引等収益	15,643
その他業務収益	9,439
その他経常収益	6,613
<b>経常費用</b>	<b>72,382</b>
資金調達費用	6,915
(うち預金利息)	(6,528)
役員取引等費用	5,152
その他業務費用	27
営業経費	50,703
その他経常費用	9,584
<b>経常利益</b>	<b>39,972</b>
<b>特別利益</b>	<b>950</b>
<b>特別損失</b>	<b>254</b>
<b>税引前当期純利益</b>	<b>40,668</b>
法人税、住民税及び事業税	85
法人税等調整額	475
法人税等合計	561
<b>当期純利益</b>	<b>40,107</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位: 百万円)

科目	金額	科目	金額	科目	金額	科目	金額
<b>株主資本</b>		<b>利益剰余金合計</b>		<b>評価・換算差額等</b>		<b>評価・換算差額等合計</b>	
資本金		前期末残高	14,561	その他有価証券評価差額金		前期末残高	2,226
前期末残高	135,000	当期変動額		前期末残高	2,181	当期変動額	
当期変動額	—	剰余金の配当	△ 10,053	当期変動額		株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	12,221
当期変動額合計	—	当期純利益	40,107	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	12,273	当期変動額合計	12,221
当期末残高	135,000	当期変動額合計	30,053	当期変動額合計	12,273	当期末残高	14,448
<b>利益剰余金</b>		<b>当期末残高</b>	<b>44,614</b>	<b>当期期末残高</b>	<b>14,455</b>	<b>純資産合計</b>	
利益準備金		<b>株主資本合計</b>		<b>繰延ヘッジ損益</b>		前期末残高	151,787
前期末残高	—	前期末残高	149,561	前期末残高	44	当期変動額	
当期変動額	—	当期変動額		当期変動額		剰余金の配当	△ 10,053
剰余金の配当	2,010	剰余金の配当	△ 10,053	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 51	当期純利益	40,107
当期変動額合計	2,010	当期純利益	40,107	当期変動額合計	△ 51	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	12,221
当期末残高	2,010	当期変動額合計	30,053	当期変動額合計	△ 51	当期変動額合計	42,275
<b>その他利益剰余金</b>		<b>当期末残高</b>	<b>179,614</b>	<b>当期期末残高</b>	<b>△ 7</b>	<b>当期末残高</b>	<b>194,062</b>
繰越利益剰余金							
前期末残高	14,561						
当期変動額							
剰余金の配当	△ 12,064						
当期純利益	40,107						
当期変動額合計	28,042						
当期末残高	42,603						

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 営業所のご案内 (足利銀行)

営業所の状況 (22年3月末現在)			
	営業所数	店外ATM	ローンセンター
栃木県	107店 (うち出張所42)	164	15
群馬県	14店 ( )	9	5
茨城県	8店 ( )	2	1
埼玉県	16店 ( )	2	1
東京都	1店 ( )	-	-
福島県	1店 ( )	1	-
合計	147店 ( )	178	22

※提携コンビニATM (セブン銀行ATM・イーネットATM)  
 全国23,688か所 (22年3月末現在)

(出)……出張所  
 (リ)……リテールセンター  
 (口)……ローンセンター



発行/平成22年7月  
 足利ホールディングス経営企画部

〒320-8610 栃木県宇都宮市桜4-1-25 TEL028-622-8411 (代表)  
<http://www.ashikaga-hd.co.jp>

足利銀行広報室

〒320-8610 栃木県宇都宮市桜4-1-25 TEL028-622-0111 (代表)  
<http://www.ashikagabank.co.jp>